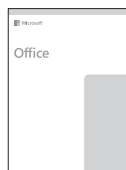


取扱説明書

電源投入前に、電源コードと AC アダプターをパソコン本体に接続してください。
※ 購入直後の初期セットアップ時は、電源コードと AC アダプターをパソコン本体に接続しないと起動しない場合があります。

付属品がすべて揃っているか確認してください

- 本体(バッテリーパック内蔵モデル)
- ACアダプター
- 電源コード
- 安心してお使いいただくために
- 取扱説明書(本書)
- 保証書
- 「Office」パッケージ 1式 *1 *2



- ワイヤレスマウス *3
- マウスレシーバー(ワイヤレスマウス内に収納) *3
- 乾電池(単3形) *3*4

*1 このパッケージにはセットアップ/リカバリ時に必要なプロダクトキーが記載されていますので、大切に保管してください。

*2 箱に貼られているラベルに「Office搭載」と印刷されている場合のみ、付属されます。

*3 箱に貼られているラベルに「ワイヤレスマウス付属」と印刷されている場合のみ、付属されます。

*4 付属の乾電池は動作確認用です。電池持続時間が短い場合があります。ご使用時は、新しいアルカリ乾電池(単3形)の使用を推奨します。

【製品仕様のご確認】

本製品の詳しい仕様については、dynabook.com (<http://dynabook.com/search/index.html>) でお使いの製品型番を入力し、情報をご覧ください。

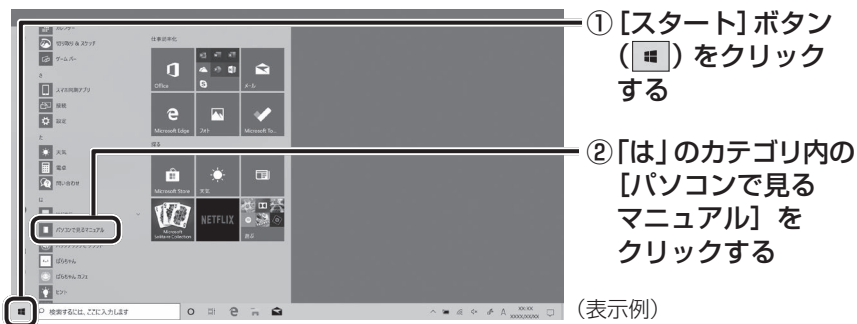
製品型番は、保証書や本製品裏面などに記載されています。



この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

詳細は、『パソコンで見るマニュアル』で説明しています。

本書では、パソコンに用意されている機能の一部を簡単に説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『パソコンで見るマニュアル』を参照してください。『パソコンで見るマニュアル』は、次の手順で起動できます。



* 画面に表示されるアプリケーションは、モデルや使用状況によって異なります。



もくじ

もくじ.....	1
はじめに.....	2

1章 パソコンを使うための準備..... 5

1 各部の名称 - 外観図 -	5
2 パソコンを使うための準備のながれ.....	9
3 電源コードとACアダプターを接続し、電源を入れる.....	10
4 Windowsを使えるようにする.....	12
5 リカバリーメディアを作る.....	16
6 Microsoftアカウントでサインインする.....	18
7 キーボードドックの取り付け.....	21
8 バッテリーについて.....	24
9 ペン操作時のポインター位置を調整する.....	26
10 ワイヤレスマウスを使うには.....	27

2章 困ったときは..... 29

1 困ったときは - トラブルを解消するまでの流れ -	29
2 Q&A集.....	30
3 パソコンを再セットアップするまでの流れ.....	35
4 パソコンをリセットする／初期状態に戻す - リカバリー -	36
5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする.....	45

付録..... 46

1 ご使用にあたってのお願い.....	46
2 アプリケーションのお問い合わせ先.....	48
3 サービス&サポートのご案内.....	50
4 捨てるとき／人に譲るとき.....	57
5 リカバリーチェックシート.....	59

はじめに








このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っているると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っているると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 本書内への参照の場合…「 」● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

お子様がお使いになるときは、保護者のかたが各種説明書の内容をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、上演、演奏、展示、改変、複製物の譲渡および貸与、ならびにネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 用語について

参照 ▶『パソコンで見るマニュアル 準備編 本書をお読みになる前に - 2 用語について』

4 記載について

- 本書に記載している画面やイラストは、表示例のため、一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- お使いのモデルにより、キーボードに印刷されている英字表記が異なります。キーボードのキーは、大文字の英字表記で説明しています（例：**SHIFT**）。

5 Trademarks

- Intel、インテル、Intel ロゴ、Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- Microsoft、Skype、Windows、Windows ロゴ、Microsoft Edge、Microsoft Edge ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター クラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- USB Type-C™、USB-C™ は USB Implementers Forum の商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

6 お願い

- 次のいずれか以外の、システム（OS）、アプリケーションをインストールした場合の動作保証はできません。
 - ・ 本体のハードディスクにインストールされている、システム（OS）、アプリケーション
 - ・ 付属の CD/DVD からインストールしたアプリケーション
 - ・ Microsoft Store で公開されている、本製品向けに提供されたアプリケーション
- Windows 標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。

- 次のシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ使用できます。
 - ・ 本体のハードディスクにインストールされている、システム (OS)、アプリケーション
 - ・ 付属のCD/DVDからインストールしたアプリケーション
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、次のサポート窓口に連絡してください。
 - ・ Microsoft アカウントのパスワードやPINを忘れたとき
： dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口
 - ・ その他のパスワードを忘れたとき : dynabook あんしんサポート 修理相談窓口
 「その他のパスワード」の場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。また、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター クラウド™」を使用している場合、パターンファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。ウイルスチェックがまったく行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 保証書は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 お客様登録について

『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 **6** お客様登録 (Room dynabook) の手続き』

1

各部の名称 - 外観図 -

お願い 外観図について

- 本製品に表示されているコネクタ/LED/スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成（モデルによっては選択できない構成があります）を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。
- 本製品には磁石が内蔵されています。

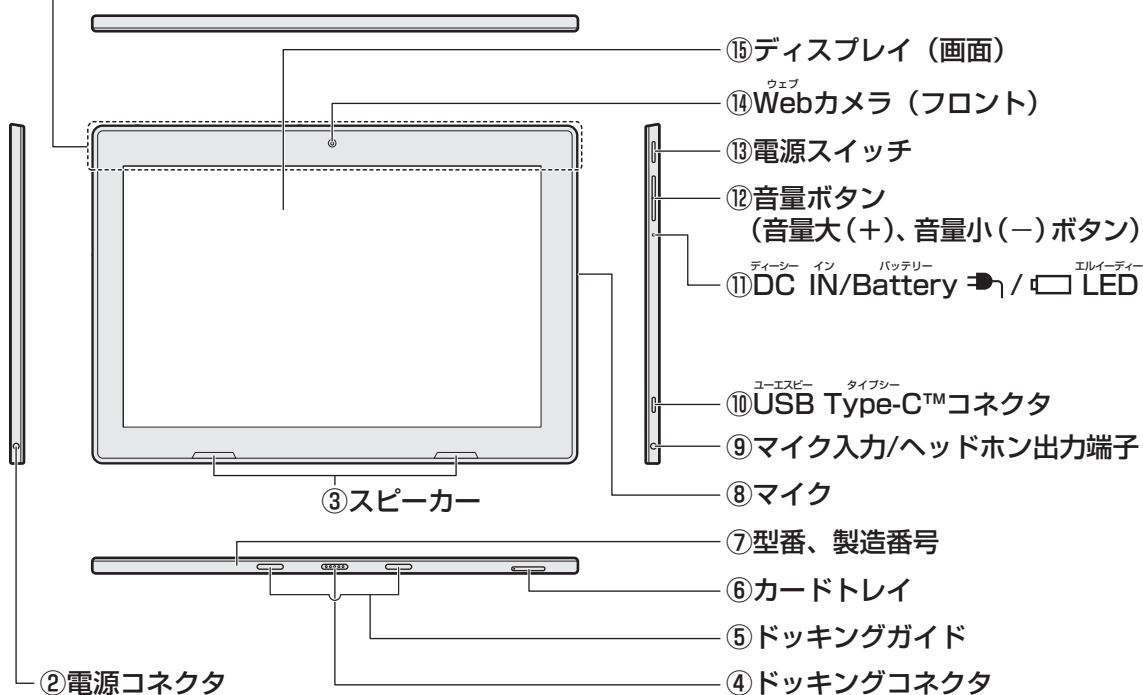
参照 ▶ [「磁石の内蔵について（8ページ）」](#)

1章

パソコンを使うための準備

1 タブレット前面図

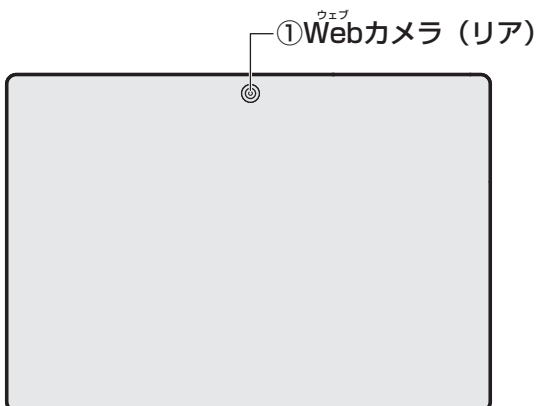
①この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。



2 タブレット背面図

1 章

パソコンを使うための準備



※バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

⚠ 危険

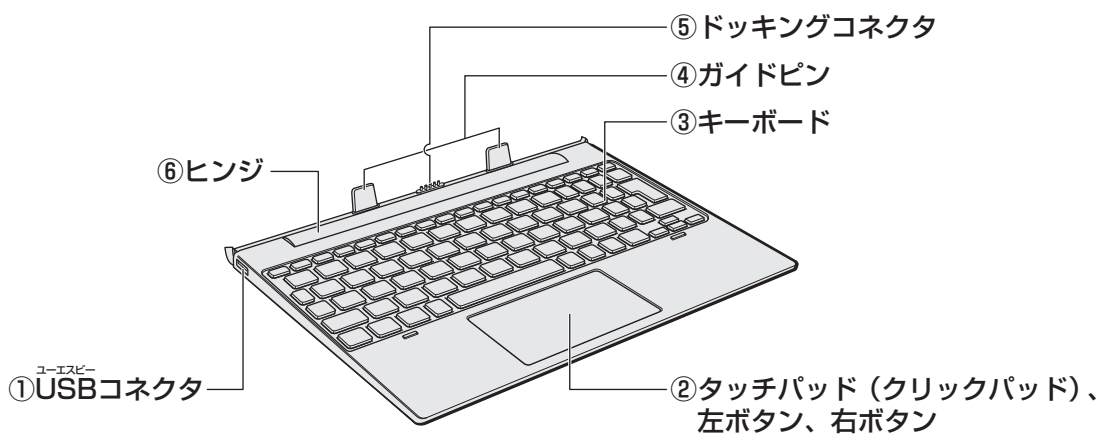
- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合はお問い合わせください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 ▶ お問い合わせ先 [「サービス&サポートのご案内 \(50ページ\)」](#)

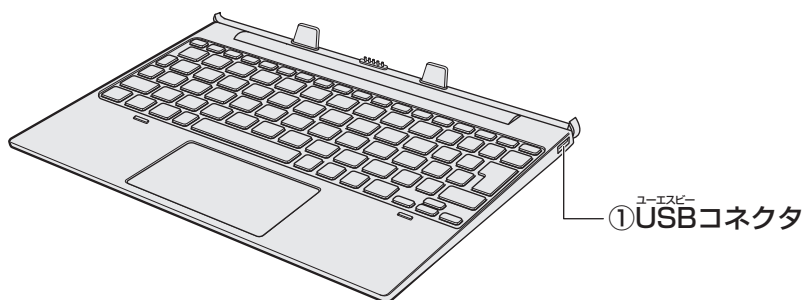
お願い

- 本製品のメモリについて
 - メモリの交換・増設はできません。

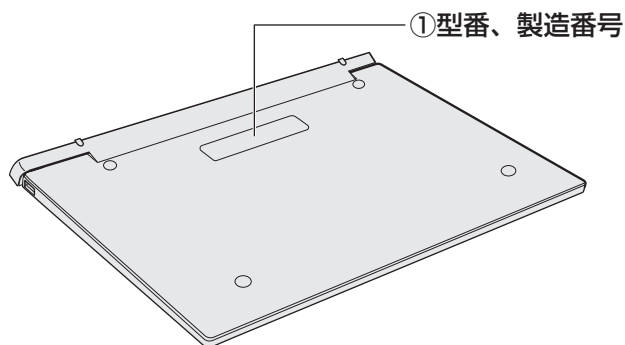
3 キーボードドック前面図（左側）



4 キーボードドック前面図（右側）



5 キーボードドック背面図



6 磁石の内蔵について

次の図の枠で囲った部分には、磁石が内蔵されています。

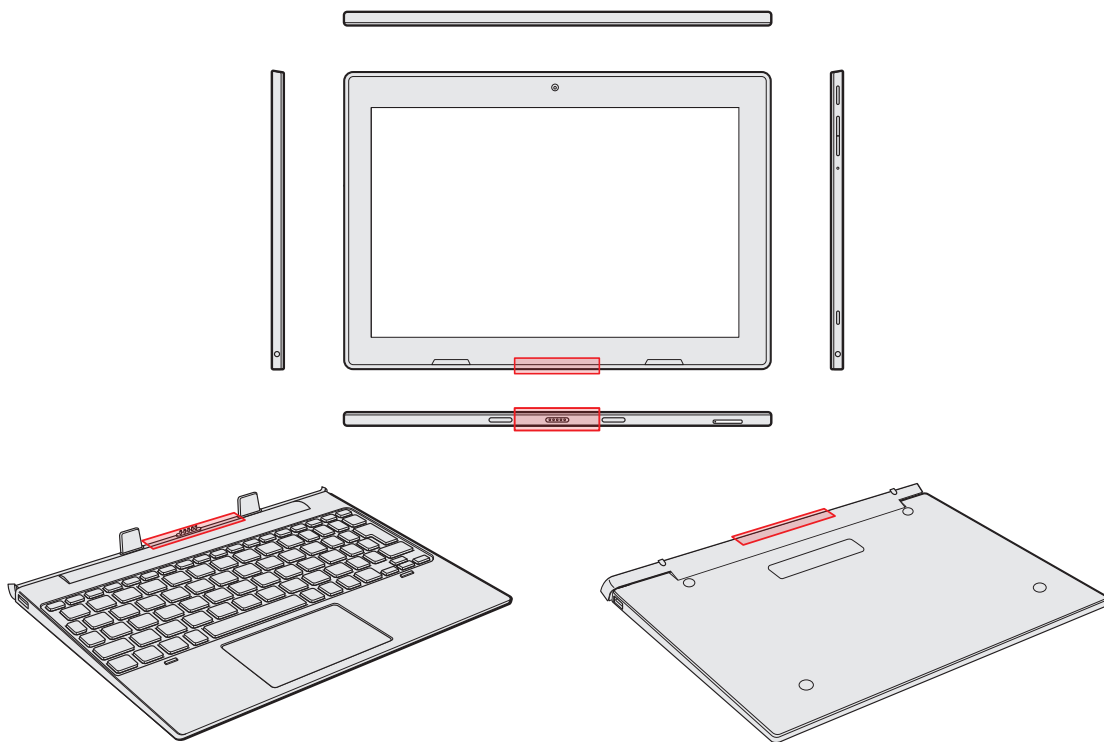
ディスプレイ（タブレット部分）を閉じた状態、裏返した状態でも磁気の影響はあります。

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、本製品の磁石を近づけない
磁気によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

お願い 磁石について

- データを壊す可能性がありますので、磁気カードなどの記憶媒体を本製品の磁石に近づけないようにしてください。



次のながれで、パソコンを使うための準備を進めていきましょう。

1 箱の中身を確認する

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

参照 ▶ 本書の表紙

2 電源コードとACアダプターを接続し、電源を入れる

参照 ▶ [「電源コードとACアダプターを接続し、電源を入れる（10ページ）」](#)

3 Windowsを使えるようにする(Windowsセットアップ)

※ Windows セットアップには約10～20分かかります。

参照 ▶ [「Windowsを使えるようにする（12ページ）」](#)

4 ウイルスチェック／セキュリティ対策を行う

安全にパソコンを使用するために、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの利用を強くおすすめします。

参照 ▶ 『パソコンで見るマニュアル 準備編』

5 リカバリーメディアを作る

パソコンの調子が悪くなったときに初期状態に戻すためのリカバリーメディアを作成します。

参照 ▶ [「リカバリーメディアを作る（16ページ）」](#)

6 インターネットに接続する

インターネットには、無線LANで接続します。

参照 ▶ 『パソコンで見るマニュアル 準備編』

7 Microsoftアカウントでサインインする

Microsoftアカウントでパソコンにサインインできるように設定します。Microsoftアカウントでサインインすると、Windowsの機能をさらに活用できるようになります。

参照 ▶ [「Microsoftアカウントでサインインする（18ページ）」](#)

* 本製品をタブレット状態で使用する場合は、「クリック」を「タップ」に読み替えてください。

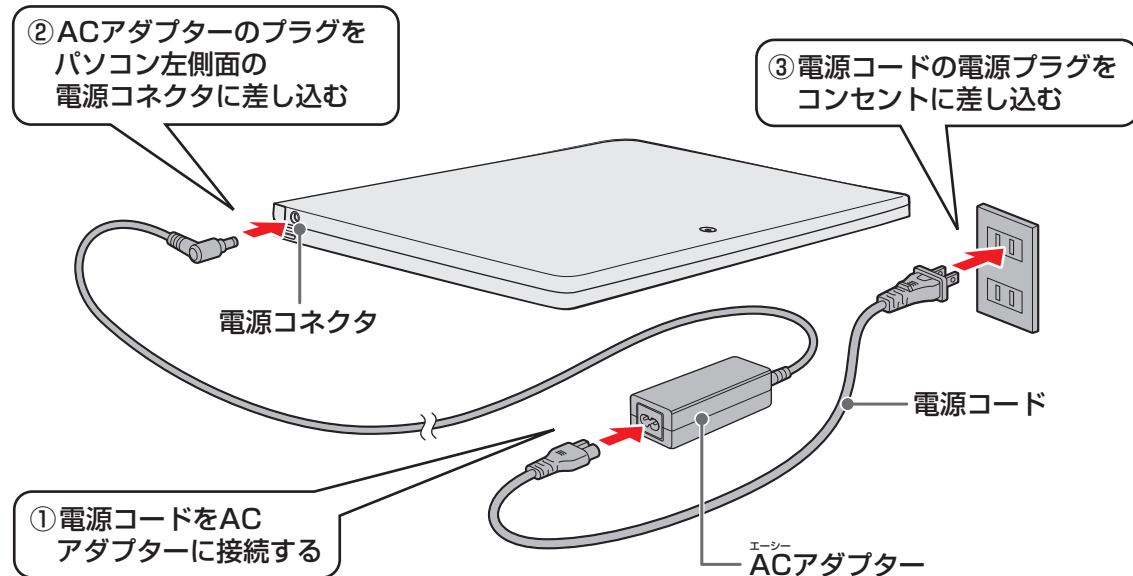
3

電源コードとACアダプターを接続し、電源を入れる

1章

1 電源コードとACアダプターを接続する

次の図の①→②→③の順で行ってください。

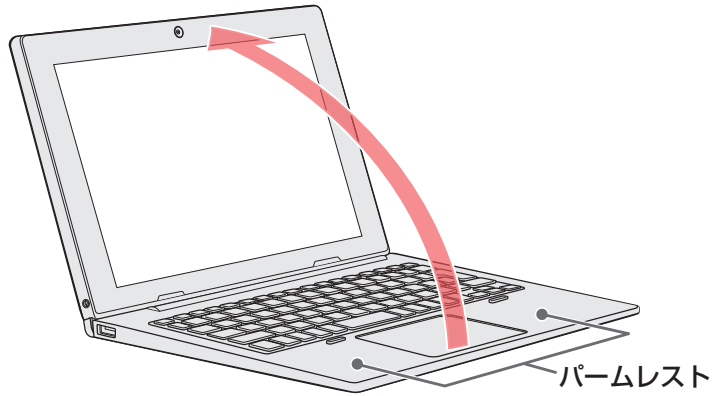


パソコンを使うための準備

2 電源を入れる

1 パソコンのディスプレイを開ける

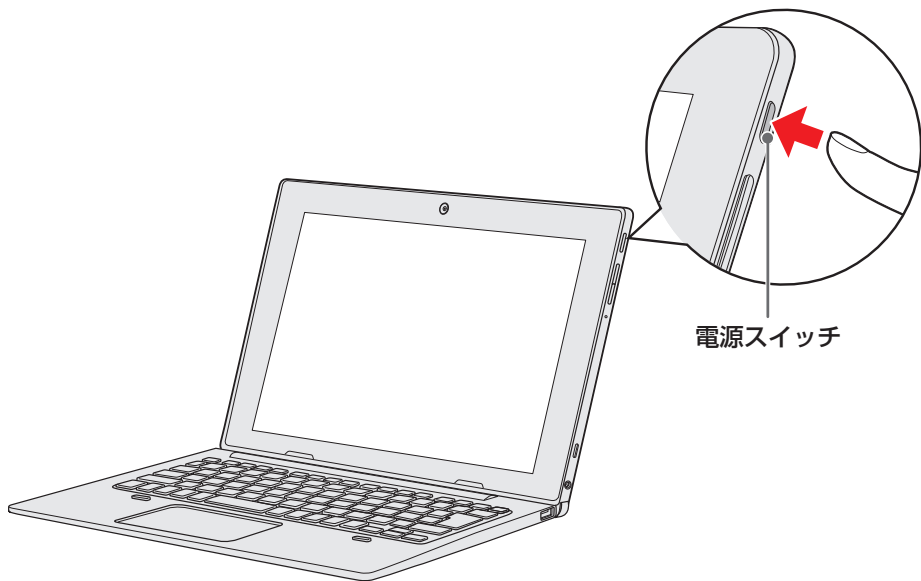
ディスプレイを開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ（画面）部分には触れないようにしてください。



片手でパームレスト（キーボード手前部分）をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

2 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。



1 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、本製品をできるようにするために必要な操作です。
作業を始める前に、『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コード
やACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意**■ 周辺機器は接続しないでください**

- セットアップを開始する前に、セットアップに不要なものが接続されていないことを確認してください。
セットアップに不要なものが接続されている場合は、本製品の電源を切った状態であら
かじめ取りはずしてください。
セットアップが完了するまでは、その他の周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

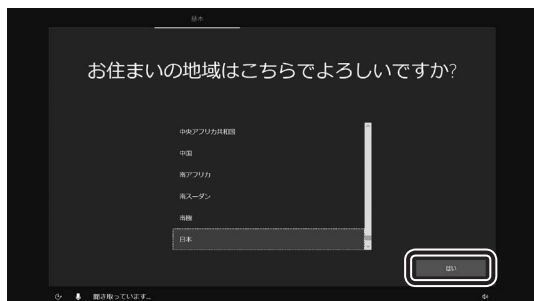
- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できな
い原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を
続けてください。
しばらく入力装置（タッチパッドやキーボードなど）を操作しないと、画面に表示され
る内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障では
ありません。
もう一度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
キーやタッチパッドなどでは復帰しない場合は、電源スイッチを押してください。

Windows セットアップには約 10～20 分かかります。

1 [日本] が選択されているのを確認し、[はい] をクリックする



[キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか?] 画面が表示されます。

2 [Microsoft IME] が表示されているのを確認し、[はい] をクリックする

[2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか?] 画面が表示されます。

3 [スキップ] をクリックする

2つ目のキーボードレイアウト (別の言語) の追加は、セットアップ完了後に行えるので、ここではスキップします。

[ネットワークに接続しましょう] 画面が表示されます。

4 [インターネットに接続していません] をクリックする

インターネットへの接続は、セットアップ完了後に行えます。



[インターネットに接続すると、さらにいろいろな発見があります] 画面が表示されます。

5 [制限された設定で続行する] をクリックする

手順 4 と同様、ここではインターネットへの接続は行いません。

[Windows 10 使用許諾契約] 画面が表示されます。

6 使用許諾契約の内容を最後まで確認し、[同意] をクリックする

[この PC を使うのはだれですか?] 画面が表示されます。

7 名前（ユーザー名）を入力し①、[次へ] をクリックする②

ここでは、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。

管理者ユーザーとは、ネットワークや本製品を管理する権限を持つユーザーのことです。管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

■ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)



①ユーザー名を、半角英数字 (0~9、a~z、A~Z) で入力します。入力欄にカーソル (|) が表示されていない場合は、入力欄を一度クリックしてください。

[確実に覚えやすいパスワードを作成します] 画面が表示されます。

8 パスワードを入力せずに、[次へ] をクリックする

セットアップ完了後にMicrosoftアカウントに切り替えるので、ここではパスワードを入力しません。

9 アクティビティの履歴に関する内容を確認し、[はい] または [いいえ] をクリックする

[デジタルアシスタントを利用する] 画面が表示されます。

10 デジタルアシスタントに関する内容を確認し、[同意] または [拒否] をクリックする

[デバイスのプライバシー設定の選択] 画面が表示されます。

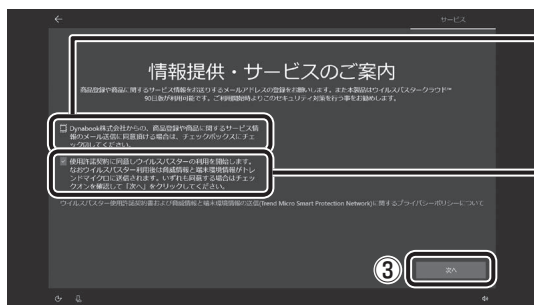
11 デバイスのプライバシーの設定を確認し、[同意] をクリックする

最初に表示された内容が、Microsoftがおすすめする設定です。確認し、変更したい項目があれば変更してください。セットアップ完了後にも変更できます。

12 [メールアドレスのご利用目的] をクリックして説明を読み、当社のサービス情報メールを希望する場合は、必要事項を入力し、[次へ] をクリックする

サービス情報メールを希望しない場合は、何もしないで [次へ] をクリックしてください。次の画面が表示されます。

13 当社のサービス情報メール①と、「ウイルスバスター クラウド™」の利用開始②の設定を行い、[次へ]をクリックする③

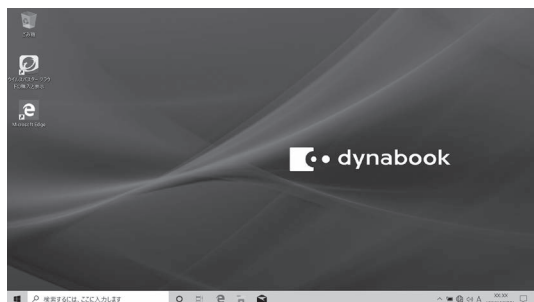


①当社からのメールを希望する（送信に同意する）場合は をクリックして にしてください。

②セットアップ完了後すぐに、本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」を利用する場合は のままにしてください。

14 そのまま電源を切らずに、しばらくお待ちください

次のようなデスクトップ画面が表示されたら、Windows を使い始めることができます。「ウイルスバスター クラウド™」の画面が表示される場合もあります。



(表示例)

お願い

● 定期的にバックアップをとみましょう

ファイルを誤って削除してしまったり、突然のトラブルによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。

定期的にバックアップをとることをおすすめします。

1章

パソコンを使うための準備

5 リカバリーメディアを作る

1 章

パソコンを使うための準備

パソコンの調子が悪くなりWindowsが起動しなくなった場合、パソコンを初期状態に戻すために、リカバリーメディアが必要となります。

リカバリーメディアは、あらかじめ、お客様ご自身で作成していただく必要があります。

準備するもの

● USB フラッシュメモリ

USB フラッシュメモリで、リカバリーメディアを作成します。

USB フラッシュメモリの内容はすべて削除されますので、何もデータが書き込まれていないものを用意してください。

リカバリーメディアの作成に最低限必要な容量は、リカバリーメディアを作成する手順の途中で画面に表示されます。表示される容量より大きい容量のUSBフラッシュメモリを用意してください。

参照▶ リカバリーメディアを作成する手順 [「リカバリーメディアの作成 \(16ページ\)」](#)

お願い リカバリーメディアの作成にあたって


- リカバリーメディアを作成するときは、ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。
- USBフラッシュメモリに書き込みを行うときは、次の説明をよく読んでから行ってください。

参照▶ USB対応機器の使用上のご注意

『機器の取り扱い編 付録 1 - 7 - USB対応機器の操作にあたって』

守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、振動や衝撃などの本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

リカバリーメディアの作成

- ① 電源コードとACアダプターを接続する
- ② [スタート] ボタン () をクリックする
- ③ [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- ④ 「表示方法」の [カテゴリ] をクリックし、[大きいアイコン] を選択する
- ⑤ [回復] をクリックする
- ⑥ [回復ドライブの作成] をクリックする
[回復ドライブの作成] 画面が表示されます。
- ⑦ [システムファイルを回復ドライブにバックアップします。] にチェックがついていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックする
[USBフラッシュドライブの接続] 画面が表示されます。
画面に表示される容量以上のUSBフラッシュメモリが必要になります。
- ⑧ USBコネクタにUSBフラッシュメモリを接続する

⑨【次へ】 ボタンをクリックする

⑩【作成】 ボタンをクリックする

USB フラッシュメモリの内容はすべて削除されます。

作成が開始されると、画面に作成しているリカバリーメディアの進捗状況が表示されます。作成を途中で中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

作成したリカバリーメディアには、「リカバリーメディア」であることがわかるように目印をつけてください。

⑪【完了】 ボタンをクリックする

6

Microsoftアカウントでサインインする

1章

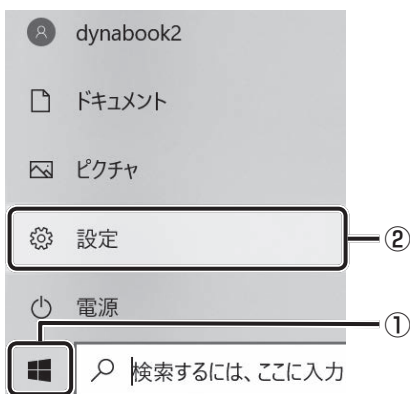
パソコンを使うための準備

Microsoftアカウントでパソコンにサインインできるように設定します。Microsoftアカウントでサインインすると、Windowsの機能をさらに活用できるようになります。

たとえば、

- Office製品に一括でサインインできるようになります（Office搭載モデルのみ）。
- 「OneDrive」を使用して、どのパソコンからでもデータを共有できるようになります。

1 [スタート] ボタン () をクリックし①、[設定] をクリックする②



[設定] 画面が表示されます。

2 [アカウント] をクリックする

[ユーザーの情報] 画面が表示されます。

3 [Microsoftアカウントでのサインインに切り替える] をクリックする

[Microsoft] の画面が表示されます。

4 Microsoft アカウントを新規に作成する場合は、[アカウントをお持ちでない場合、作成できます] の [作成] をクリックする

■ 既存の Microsoft アカウントを利用する場合

アカウントを入力して [次へ] をクリックし、パスワードを入力してサインインします。手順 **10** に進みます。

A screenshot of the Microsoft sign-in page. At the top left is the Microsoft logo. Below it is the word "サインイン" (Sign in). There is a text input field with the placeholder text "Eメール、電話、または Skype". Below the input field, there are two links: "アカウントをお持ちでない場合、作成できます。" and "ユーザー名を忘れた場合". At the bottom right, there is a dark button labeled "次へ" (Next).

5 メールアドレスを入力し、[次へ] をクリックする

6 Microsoft アカウントのパスワード (大文字・小文字・数字・記号のうち2種類以上を含め、8文字以上) を入力して [次へ] をクリックする

Microsoft からのサービス情報メールを受信するかどうかのチェックボックスが表示されている場合は、必要に応じて設定してください。

7 名前を入力して [次へ] をクリックする

8 国を選択し、生年月日を選択して、[次へ] をクリックする

9 コードを入力する画面が表示された場合は、コードを入力して [次へ] をクリックする

- 手順 **5** で入力したメールアドレスに、Microsoft から、本人であることを確認するメールが届きます。メールに記載のセキュリティコードを入力してください。
- Microsoft からのサービス情報メールを受信するかどうかのチェックボックスが表示されている場合は、必要に応じて設定してください。

10 パスワード欄に何も入力せずに、[次へ] をクリックする

11 [次へ] をクリックする

PIN とは、パスワードの代わりに使用できる暗証番号のようなものです。

12 [新しいPIN] と [PINの確認] に、同じPIN（4文字以上の数字）を入力し、[OK] をクリックする

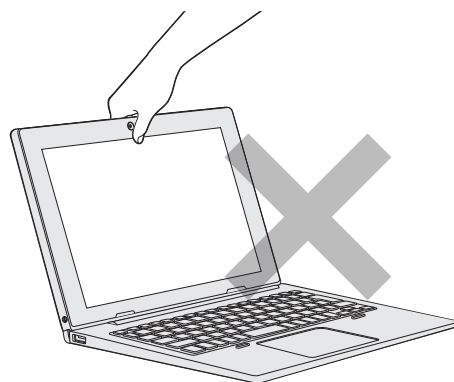
[ユーザーの情報] 画面に戻り、Microsoftアカウントに切り替わります。
今後Windowsにサインインするときは、MicrosoftアカウントのPINまたはパスワードを入力してください。

お願い

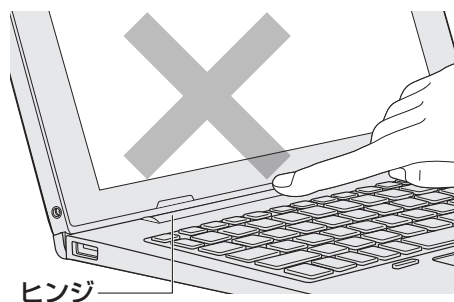
- MicrosoftアカウントのPINとパスワードを忘れないように控えてください。

⚠ 注意

- 本製品の表面や底面に長時間触れない
機器の表面や底面は熱くなります。
低温やけどを避けるため、長時間ひざの上など直接肌に触れた状態で使用しないでください。
- タブレットを接続していない状態で、キーボードドックのヒンジを操作しない
ヒンジが破損するおそれがあります。
- タブレットをキーボードドックに接続するときに指をはさまないようにする
けがをするおそれがあります。
- タブレットをキーボードドックに接続するときは、タブレットからケーブル類を抜く
本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。
- キーボードドックを接続した状態でタブレットだけを
持って持ち上げない
キーボードドックがはずれて、けがや破損、故障
のおそれがあります。



- キーボードドックを接続した状態でディスプレイ（タブレット部分）を閉じる場合は、指や物をはさまないようにする
けがや破損、故障が発生するおそれがあります。
- ヒンジ部分に指を入れた状態でディスプレイ（タブレット部分）を閉じない
ヒンジ部分に指をはさんで、けがや故障のおそれがあります。



- キーボードドックを接続した状態で画面をタッチするときは、強く押さない
画面を強くタッチすると、本製品が倒れるおそれがあり、けがや故障の原因となります。
- キーボードドックのコネクタ部分に触れない
けがや破損のおそれがあります。
- 本製品を持って振らない
ディスプレイ（タブレット部分）が手前に閉じたり、指をはさんでけがをするおそれがあります。

お願い 接続する前に

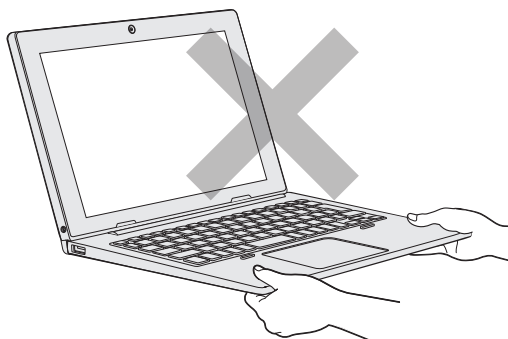
- タブレットをキーボードドックから取りはずしたあと、再接続したい場合は、5秒以上間隔をあけてから行ってください。

お願い ディスプレイ（タブレット部分）を開くときは

- ディスプレイ（タブレット部分）を開き過ぎるとヒンジに力がかかり、破損や故障の原因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

お願い ご使用にあたってのお願い

- USB コネクタに接続すると本製品が傾くようなUSB対応機器の場合は注意して使用してください。本製品のUSBコネクタに力が加わり破損するおそれがあります。
- 持ち運ぶときはキーボードドックが確実に装着していることを確認してください。
- ディスプレイ（タブレット部分）はゆっくり閉じてください。強く閉じると、ディスプレイの画面に傷がついたり、液晶パネルが故障するおそれがあります。
- 本製品を持つときは、図のようにキーボードドック部分を持たないでください。本製品が破損するおそれがあります。移動するときはディスプレイを閉じて持ってください。



- キーボードの上に、ペンなどものを置いたままディスプレイ（タブレット部分）を閉じないでください。

1 タブレットにキーボードドックを取り付ける

お願い 取り付ける前に

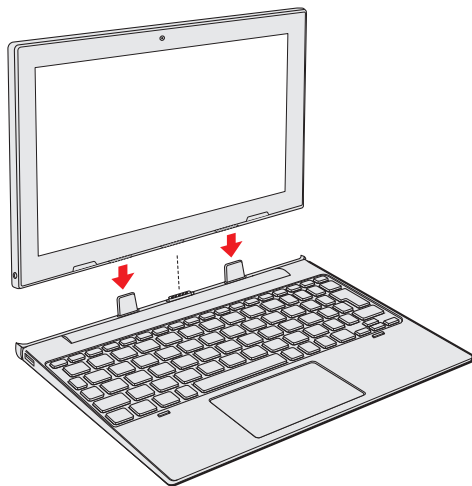
- 次の状態で、タブレットにキーボードドックを取り付けしないでください。
本製品が正常に動作しない場合があります。
 - ・ Windowsの起動中（デスクトップ画面、またはスタートメニューが表示されるまでの間）
デスクトップ画面、またはスタートメニューが表示されたことを確認してから、取り付けてください。
 - ・ Windowsのシャットダウン中
 - ・ スリープへの移行中
 - ・ 休止状態への移行中

1 タブレットからACアダプター、周辺機器、ケーブル類を取りはずす

2 データを保存し、使用しているアプリケーションを終了して、タブレットの電源を切る

3 タブレットのドッキングガイドをキーボードドックのガイドピンに合わせてゆっくり矢印の方向に差し込む

テーブルなど、キーボードドックが置いてある面から、90°の角度でタブレットを接続してください。



メモ

- タブレットを逆向き（ディスプレイが外側を向いている状態）にして、キーボードドックに取り付けると、キーボードドックの機能は無効になります。

8

バッテリーについて

1章

パソコンを使うための準備

本製品には、バッテリーパックが内蔵されています。

本製品を初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。

『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合はお問い合わせください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 ▶ お問い合わせ先 [「サービス&サポートのご案内 \(50ページ\)」](#)

お願い

バッテリーを使用するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ [「バッテリーの使用/充電について \(46ページ\)」](#)

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 バッテリーの状態を DC IN/Battery LED で確認する

電源コードと AC アダプターを接続している場合、DC IN/Battery LED が点灯します。



DC IN/Battery LED は次の状態を示しています。

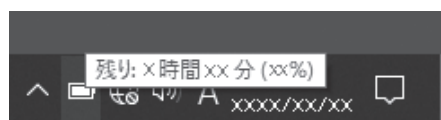
	状態	パソコン本体の状態
DC IN/ Battery LED	白色の点灯	充電完了
	白色の点滅	充電中
	消灯	・電源コードと AC アダプターを接続していない 電源コードと AC アダプターを接続していても消灯している場合は、バッテリー異常の可能性があります。 dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口にご連絡してください。

メモ

- モデルによっては、[ECO Charge Mode] を「Enabled」に設定した状態で規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

2 通知領域の [バッテリー] アイコンで確認する

通知領域の [バッテリー] アイコン (、) の上にポインターを置くと、バッテリー充電量が表示されます。





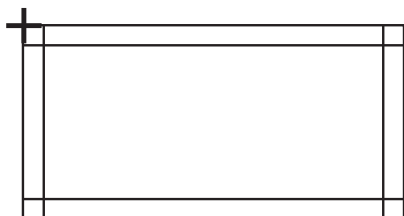
(表示例)

* オプションのみ

ペンは、製品ごとに最適化していただくことで、画面上のポインターをより正しい位置に表示することができます。

ご使用の前に、次の手順でポインターの表示位置を調整してください。

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- ③ [ ハードウェアとサウンド] をクリックする
- ④ [タブレットPC設定] をクリックする
[タブレットPC設定] 画面が表示されます。
- ⑤ [調整] をクリックする
[ペンまたはタッチ入力画面の調整] 画面が表示されます。
- ⑥ [ペン入力] をクリックする
次の調整画面が表示されます。



- ⑦ 画面に表示される十字 (+) をペン先でタップする (16か所)
位置調整が完了すると、「調整データを保存しますか？」のメッセージが表示されます。
- ⑧ [はい] をタップする
- ⑨ ポインター位置とペン先がずれていないか確認する
画面をペン先でタッチし、ポインター位置を確認してください。
位置がずれていた場合は、再度手順①から操作をやり直してください。

10 ワイヤレスマウスを使うには

* ワイヤレスマウス付属モデルのみ

モデルによって、ワイヤレスマウスが付属しています。

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所では、ワイヤレスマウスから乾電池を取りはずす
航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、ワイヤレスマウスから乾電池を取りはずしてください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

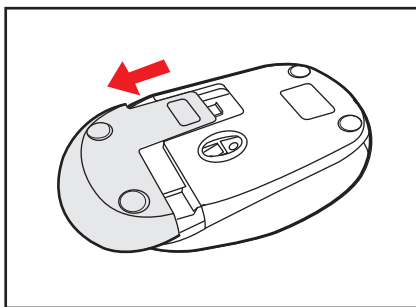
注意

- マウス底面のレーザー式センサー孔を直接のぞき込まない
目を痛めるおそれがあります。

1 ワイヤレスマウスの準備

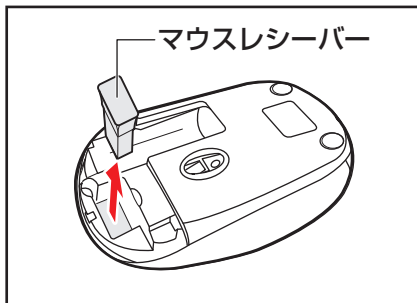
はじめてワイヤレスマウスを使うときは、マウスレシーバーを取り出してから、乾電池を取り付けてください。

1 ワイヤレスマウスの電池カバーを矢印の方向にスライドして開ける



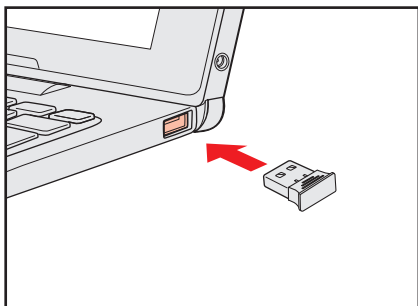
2 マウスレシーバーを取り出す

ワイヤレスマウスからマウスレシーバーを取り出します。



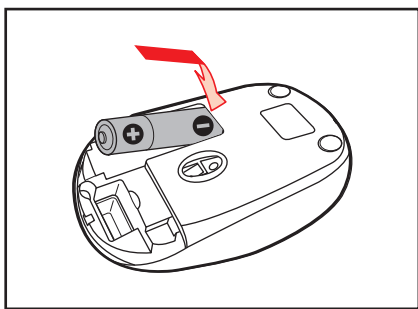
* マウスによって、マウスレシーバーの向きがイラストと異なる場合があります。

3 マウスレシーバーをパソコン本体のUSBコネクタに差し込む

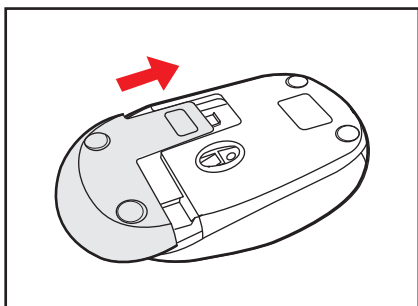


(接続例)

4 ワイヤレスマウスに乾電池をセットする



5 電池カバーを閉める




参照 ▶ ワイヤレスマウスの詳細について
『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 7 ワイヤレスマウスを使う』

STEP1 本書の「Q&A集」から探す



本書の「Q&A集」に同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

STEP2 『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』から探す


『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』でも、さまざまなQ&Aについて説明しています。


- ① [スタート] ボタン () をクリック → ② [パソコンで見るマニュアル] をクリック →
- ③ [困ったときは編] をクリックしてください。

STEP3 「困ったときは編」以外から探す

- 『パソコンで見るマニュアル』を検索してみる
 - ① [スタート] ボタン () をクリック → ② [パソコンで見るマニュアル] をクリック →
 - ③ 各編をクリック → ④ ツールバーの [検索] () をクリックし、[ページ内の検索] の入力欄にキーワードを入力してください。
- 「おたすけナビ」で探してみる

「おたすけナビ」を使うと、本製品に用意されているアプリケーションの中から、目的にあったアプリケーションを探し出すことができます。

 - ① [スタート] ボタン () をクリック → ② [おたすけナビ] をクリックしてください。

ヘルプを起動するには、[おたすけナビ] 画面で  をクリックします。

STEP4 サポートのサイトで調べる * インターネットに接続している場合

- 当社ホームページ「dynabook.com」(<http://dynabook.com/>)

「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。
- 「あなたのdynabook.com」

「dynabook.com」の「サポート情報」にある「あなたのdynabook.com」には、ご利用のパソコンの「よくあるご質問 (FAQ検索)」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などが掲載されています。

STEP5 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- パソコン本体のトラブルの場合

dynabook あんしんサポートにご連絡ください。
- OSやアプリケーションのトラブルの場合

OSや各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 ▶ お問い合わせ先『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』
- 周辺機器のトラブルの場合

参照 ▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、あわせて参照してください。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、電源が入らない**A** 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう
電源が入らない**A** バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

参照▶ [「バッテリーについて \(24ページ\)」](#)

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるまで待ってください。

A パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす
パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
- ② そのままの状態、しばらく放置する
- ③ 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- ④ 電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。
- ⑤ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチをさらに1回押す
- ⑥ 10秒程度待って、なにも反応しない場合は、さらに1回電源スイッチを押す
- ⑦ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチを18秒ほど長押しして、指をはなす
- ⑧ 再度電源スイッチを押す

手順④～⑧の操作を行うと、内蔵時計がリセットされる場合があります。日付と時刻を設定し直してください。

以上の手順でも解決できない場合は、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。

参照▶ 電源コードとACアダプターの接続

[「電源コードとACアダプターを接続し、電源を入れる \(10ページ\)」](#)

Q 電源を入れたが、システムが起動しない**A** 起動ドライブをハードディスク以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

次の手順で操作してください。

- ① システムが入っている記録メディアをセットする
- ② 電源スイッチを5秒以上押し、電源を切る
- ③ 電源スイッチを押し、すぐに[F12]キーを数回押す
パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して[ENTER]キーを押してください。
- ④ 表示されたメニューから起動したいドライブ（通常はハードディスクを示す項目）を[↑]
[↓]キーで選択し、[ENTER]キーを押す

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある**A** バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)**参照** [「バッテリーについて \(24ページ\)」](#)**Q** しばらく操作しないと、電源が切れる**A** 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッド、マウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

[SHIFT]キーを押すか、タッチパッド、マウスなどを操作すると表示が復帰します。

2 画面／表示**Q** 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった**A** 電源スイッチを5秒以上押し、Windowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、[「Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない \(32ページ\)」](#)を確認してください。**Q** しばらく放置したら、画面が真っ暗になった**A** 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッド、マウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

[SHIFT]キーを押すか、タッチパッド、マウスなどを操作すると表示が復帰します。

3 システム／ハードディスク

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動するか、完全にシャットダウンしてください。

参照 再起動、完全にシャットダウンする

『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編 1章 パソコンの動作がおかしいときは』

タッチ패드やマウスなどで操作できない場合は、次の手順でキーボードを操作して再起動してください。


- ① **CTRL** + **ALT** + **DEL** キーを押す
- ② **TAB** キーを数回押して画面右下の「電源」() を選択し、**ENTER** キーを押す
- ③ 表示されたメニューから、**↑** **↓** キーを押して「再起動」を選択し、**ENTER** キーを押す
パソコンが再起動します。

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動したり、完全にシャットダウンできない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A システムが処理中の可能性があります。

システム処理中は、操作を受け付けられない場合があります。操作によっては、システム処理中はポインターが輪の形 () になっています。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール

『パソコンで見るマニュアル アプリの活用編 4章 アプリケーションを追加／削除する』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属している説明書』

4 タッチパネル

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

A タッチパネルに触れたまま電源を入れると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。

タッチパネルに触れないで、しばらく待ってからお使いください。

5 メッセージ

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照▶ 日付と時刻の設定について『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編 2章 Q&A 集』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「No bootable device - Please restart system」

A システム（OS）が破損、またはハードディスクの内容が消去された可能性があります。

dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて『[サービス&サポートのご案内 \(50ページ\)](#)』

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属している説明書』を参照してください。

6 その他

Q パソコンを初期状態に戻せなくなったときは

A システムを復元するためのデータが破損、または誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。

dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「[サービス&サポートのご案内 \(50ページ\)](#)」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブルを解消するまでの流れ」を確認してください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照▶ 「[困ったときは \(29ページ\)](#)」のSTEP2以降

A パソコン本体のトラブルの場合は、dynabook あんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

パソコンの動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

■ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトでチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトで駆除できます。チェックを実行する際、パターンファイルは、最新のものに更新しておいてください。

* パターンファイルで対応していないウイルスは、駆除できない場合があります。

参照 ▶ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフト

『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 **3** ウイルスチェック／セキュリティ対策を行う』

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるので、それらを取りはずしてから再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照 ▶ 周辺機器の取りはずし『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 パソコンの準備』

『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』を参照してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

■ システムの復元で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。

参照 ▶ 「トラブルシューティング」について

『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編 1章 パソコンの動作がおかしいときは』

メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーの再インストールを行うことをおすすめします。

参照 ▶ [「プレインストールのアプリケーションを再インストールする \(45ページ\)」](#)

それでも改善しない場合

パソコンをリセットする／初期状態に戻す

大切なデータはあらかじめバックアップをとってから、パソコンをリセット、または初期状態に戻してください。

参照 ▶ [「パソコンをリセットする／初期状態に戻す \(36ページ\)」](#)

参照 ▶ [「リカバリーチェックシート \(59ページ\)」](#)

パソコンをリセット／初期状態に戻す（リカバリー）と、購入後にインストールしたアプリケーションや現在の設定などは削除されます。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときに、パソコンをリセット、または初期状態に戻してください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- dynabook あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

*¹ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

この操作を始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップをとったデータが復元できない場合があります。リカバリーする前にユーザー名を控えてください。
- この操作は、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人に操作されないよう、スーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照

スーパーバイザーパスワードやユーザーパスワード

『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 4章 セキュリティ』

1 リカバリー方法について

リカバリー方法には、次の種類があります。

- 個人用ファイルを保持してリセットする方法
- 初期状態に戻す方法
 - ・ハードディスクから行う方法
 - ・あらかじめ作成しておいたリカバリーメディアから行う方法

通常は、個人用ファイルを保持してリセットしてください。
それでもトラブルが解消しない場合は、初期状態に戻してください。

1 個人用ファイルを保持してリセットする方法

個人用ファイルを保持したまま、パソコンをリセットします。

■ 消去される内容

個人用ファイルを保持してリセットすると、次のものが消去されます。

- 本製品を購入後にインストールしたアプリケーション（「Microsoft Store」からインストールしたアプリケーションを含む）
たとえば、プレインストールされていないプリンタードライバーなど
- アプリケーションの設定
- 本製品向けに用意された更新モジュール

■ 消去されない内容

- [ドキュメント]、[ピクチャ]、デスクトップ上のデータなど
- 本製品にプレインストールされているアプリケーション
- ユーザーアカウント
- インターネットや無線LAN／モバイルネットワークの接続設定
- デスクトップの設定（テーマや壁紙）
- [設定] の個人用設定
- Windows Updateによる更新モジュール

2 初期状態に戻す方法

お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、初期状態に戻します。

ハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Microsoft アカウントのパスワードやPIN など）も、初期状態に戻ります。

通常はハードディスクからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、ハードディスクからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

2 パソコンをリカバリーする流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

リセット／初期状態に戻す前に、準備する

バックアップをとったり、
各種設定を確認する など **参照**▶ [「パソコンをリカバリーする前に準備すること \(39ページ\)」](#)

パソコンをリセットする／初期状態に戻す

リセットする／
初期状態に戻す

参照▶ [「個人用ファイルを保持してリセットする方法 \(41ページ\)」](#)
[「ハードディスクから初期状態に戻す方法 \(42ページ\)」](#)
[「リカバリーメディアから初期状態に戻す方法 \(43ページ\)」](#)

リセット／初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照▶ [「パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章」](#)
参照▶ [「パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章」](#)
参照▶ [「各機器に付属している説明書」](#)

ウイルスチェック／セキュリティ
対策ソフトの利用の開始

参照▶ [「パソコンで見るマニュアル 準備編 1章」](#)

インターネットの設定

参照▶ [「パソコンで見るマニュアル 準備編 1章」](#)

ウイルスチェック／セキュリティ
対策ソフトのパターンファイルの更新

参照▶ [「パソコンで見るマニュアル 準備編 1章」](#)
参照▶ [ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのヘルプ](#)

Windows Update

参照▶ [「パソコンで見るマニュアル 準備編 1章」](#)

メールの設定

参照▶ [「パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章」](#)

アプリケーションの
インストールと設定

参照▶ [「アプリケーションに付属している説明書」](#)

データの復元

参照▶ [「バックアップをとったデータを復元する \(44ページ\)」](#)

3 パソコンをリカバリーする前に準備すること

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- [「リカバリーチェックシート \(59ページ\)」](#) をコピーしたもの

必要に応じて、データのバックアップをとる

次のようなデータは、必要に応じて記録メディア（CD/DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

* CD/DVD/ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD/DVD/ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。

ただし、すべての外付けCD/DVD/ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

- [ドキュメント]、[ピクチャ] などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの「お気に入り」のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

参照 ▶ メール送受信データ、メールアドレス帳のバックアップについて
『メールソフトに付属している説明書』

参照 ▶ その他のデータのバックアップについて
『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 2章 Windowsの操作について』

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。

また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。

参照 ▶ 「Office」のライセンス認証について
『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 はじめに』

各種設定を確認する

ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

「初期状態に戻す」場合は、インターネットやLANの設定、Windows サインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。


その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。

ONになっていない場合は、**[FN] + [F8]** キーを押して、**[機内モード オフ]** にすると、無線通信機能がONになります。

無線通信機能は、次の手順でONにすることもできます。

- ① 通知領域の  アイコンをクリックする
- ② **[機内モード]** をクリックして、オフに切り替える

参照 『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし 『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 パソコンの準備』
『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

お願い リカバリーを行うときの注意

■ 周辺機器は接続しないでください

- リカバリーが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- リカバリーの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください


- リカバリー中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。しばらく入力装置（タッチパッドやキーボードなど）を操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**[SHIFT]** キーを押すか、タッチパッドなどをさわってください。キーやタッチパッドなどでは復帰しない場合は、電源スイッチを押してください。

4 個人用ファイルを保持してリセットする方法

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。



- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。

- ① 電源コードとACアダプターを接続する
- ② [スタート] ボタン () をクリックする
- ③ [設定] をクリックする
- ④ [更新とセキュリティ] をクリックする
- ⑤ [回復] をクリックし、[このPCを初期状態に戻す] の [開始する] をクリックする
- ⑥ [個人用ファイルを保持する] をクリックする
- ⑦ 設定を変更しないで、[次へ] をクリックする
- ⑧ [リセット] をクリックする



以降は、画面の指示に従って操作してください。


この操作が終わるまで、絶対に電源を切らないでください。

5 ハードディスクから初期状態に戻す方法

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。



- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをクリックし、[PCの電源を切る] ボタンをクリックしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを接続する
- ② [スタート] ボタン () をクリックする
- ③ [設定] をクリックする
- ④ [更新とセキュリティ] をクリックする
- ⑤ [回復] をクリックし、[PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をクリックする
- ⑥ [トラブルシューティング] をクリックする
- ⑦ [このPCを初期状態に戻す] をクリックする
- ⑧ [すべて削除する] をクリックする
- ⑨ [ファイルの削除のみ行う] をクリックする
- ⑩ [初期状態に戻す] ボタンをクリックする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。



- ⑪ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う


参照 Windows セットアップ [「Windows を使えるようにする \(12 ページ\)」](#)

6 リカバリーメディアから初期状態に戻す方法





次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。

メモ

- リカバリーメディア以外の記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをクリックし、[PCの電源を切る] ボタンをクリックしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを接続する
- ②  キーを押しながら [シャットダウン] をクリックして電源を切る (Windowsが起動している場合)

参照▶ 電源の切りかた『機器の取り扱い編 1章 パソコンの準備』

- ③ USBコネクタにリカバリーメディア (USBフラッシュメモリ) を接続する
- ④ 電源スイッチを押し、すぐに  キーを押す
[Boot Manager] 画面が表示されます。
- ⑤ USBフラッシュメモリを示す項目 ([EFI USB Device] など) を  または  キーで選択し、 キーを押す
- ⑥ [日本語 (日本)] をクリックする
- ⑦ [Microsoft IME] をクリックする
- ⑧ [ドライブから回復する] をクリックする
- ⑨ [ファイルの削除のみ行う] をクリックする
- ⑩ [回復] ボタンをクリックする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

- ⑪ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照▶ Windowsセットアップ [\[Windowsを使えるようにする \(12ページ\)\]](#)

7 パソコンをリカバリーしたあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定や更新、メールの再設定などを行ってください。

参照 ▶ 詳細について [「パソコンをリカバリーする流れ \(38ページ\)」](#)

2 章

困ったときは

メモ

- Office 搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

参照 ▶ 「Office」のライセンス認証について

『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 はじめに』

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照 ▶ [「プレインストールのアプリケーションを再インストールする \(45ページ\)」](#)

1 バックアップをとったデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップをとった記録メディアからデータを読み込んでください。

■ **【ドキュメント】、【お気に入り】のデータや、その他のファイルやフォルダーなど**バックアップをとったデータを復元してください。

参照 ▶ メール送受信データ、メールアドレス帳の復元について『メールソフトに付属している説明書』

本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバーは、一度削除しても、必要なときに再インストールできます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、アンインストールを行ってください。


アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、アンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

参照 ▶ アプリケーションの削除

「パソコンで見るマニュアル アプリの活用編 4章 アプリケーションを追加／削除する」

1 操作手順

アプリケーションによっては、あらかじめインターネットに接続しておく必要があります。

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [アプリケーションの再インストール] をクリックする
- ③ [セットアップ画面へ] をクリックする
アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
- ④ タブをクリックして、再インストールしたいアプリケーションを探す



(表示例)

画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。アプリケーションをクリックすると、画面右側に説明が表示されますので、よくお読みください。

- ⑤ 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の [[XXX] のセットアップ] をクリックする
「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
- ⑥ 表示されるメッセージに従ってインストールを行う
「XXXXXX (ファイル名) をXXXXXX (マシン名) から開きますか？」などのメッセージが表示された場合は、[開く] または [実行] ボタンをクリックしてください。

メモ

- [アプリケーションの再インストール] がないアプリケーションは、「Microsoft Store」からダウンロードできる場合があります。

1

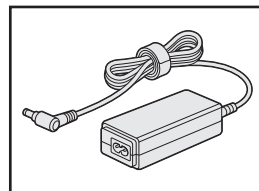
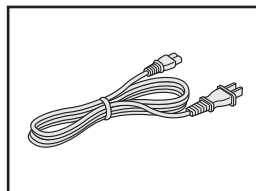
ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、右の図のように正しくケーブルを束ねてください。

電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより形状が異なります。



2 バッテリーの使用／充電について

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。バッテリーを使い切る前に電源コードとACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。

3 周辺機器について

パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
 - ・ ホットインサーションに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
 - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
 - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
 - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
 - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
 - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

4 技術基準適合について

● 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 付録』に記載されています。

- 高調波対策について
- 電波障害自主規制について

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は次のとおりです。

* 2019年10月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

参照 本書に記載している以外のアプリケーションのお問い合わせ先について
『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

■ Office Home & Business 2019

■ Office Personal 2019

上記 Office 製品を初めてご利用する際、インターネット接続環境および Microsoft アカウントでのサインインが必要になる場合があります。

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフト サポート受付窓口

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～18:00
(振替休日を含む祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)

サポート有効期間 : サポートライフサイクル期間内

※ サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

<サポート Web サイト>

Office 製品に関する情報やお問い合わせ情報などにつきましては、下記 Web サイトもご確認ください。

下記アドレスをワン ボックス (アドレスバー) に直接入力いただければ、Web サイトにアクセスできます。

● Office 製品情報 :

製品の機能や使い方などの製品情報

<https://office.microsoft.com>

● Microsoft アカウントについて :

Microsoft アカウントの登録方法や便利な使い方などについては下記のサイトをご覧ください。

<https://microsoft.com/ja-jp/msaccount>

● サポート情報 :

製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご覧ください。

<https://office.com/jppipcsupport>

.....

■ ウイルスバスター クラウド™ 90日版

トレンドマイクロ株式会社 ウイルスバスター™サービスセンター

受付時間 : 9:30~17:30
TEL : 0570-008326
03-6738-6062 (IP電話・光電話からのお問い合わせ)
E-mail : <https://tmqa.jp/ml/>
ホームページ : <https://tmqa.jp/dynabook/>

.....

■ 筆ぐるめ for dynabook

富士ソフト株式会社 筆ぐるめ インフォメーションセンター

受付時間 : 9:30~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日・休業日を除く)
11月1日から12月30日までは無休
(受付時間9:30~17:00 12/30のみ12:00まで)
TEL : 0570-550-211 (ナビダイヤル)
03-5638-6139 (PHS、IP電話ご使用の場合)
E-mail : users@fsi.co.jp
ホームページ : <https://fudegurume.jp/>

3

サービス&サポートのご案内

「PCサポートページ (dynabook)」 <http://dynabook.com/assistpc/pg>

* 2019年10月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート対応は、お問い合わせの内容や手段によって、窓口が分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

付録

困ったときのご相談	手段				
	電話	メール	Web	訪問	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	使いかた相談	dynabook オンライン	FAQ チャットサポート	訪問サポート	
夜間 (18:00~21:00) に電話サポートを利用したい			サポート予約		
時間にとらわれず好きな時間に相談したい (24時間)		dynabook オンライン	FAQ		
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援サービス		サポート予約		
故障かどうか調べたい	修理		FAQ チャットサポート		
インターネットで修理の申し込みをしたい			PC i-repair		PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい					
海外から修理を依頼したい	修理				
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい			FAQ		
自宅に来てトラブルを解決してほしい				訪問サポート	
パソコンの調子が悪いので、パソコンを預けて点検してほしい	点検		点検		
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				訪問サポート	
パソコンの中からデータを救い出してほしい	データ復旧				
パソコンの設定を代わりにしてほしい	有料サポート		有料サポート	訪問サポート	
マンツーマンでレッスンを受けたい					

困ったときのご相談	手段				
	電話	メール	Web	訪問	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談					
お客様登録をしたい		Room dynabook			
電源コードを購入したい					
ACアダプターを購入したい					
メモリを購入したい* ¹			購入 窓口		
バッテリーパック搭載モデルの場合、バッテリーパックを購入したい* ²					
バッテリーパック内蔵モデルの場合、バッテリーパックの交換を依頼したい* ²	バッテリー パック交換* ³				
保証期間を延長したい			有料 サポート		
使用済みパソコンの回収・リサイクルのご相談					
不要になったパソコンを廃棄したい（個人）	リサイクル 個人		リサイクル 個人		
不要になったパソコンを廃棄したい（企業）	リサイクル 企業				

* 1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかつたり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。




参照▶『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 1 - 2 タブレット背面図』の「お願い」

* 2 充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。

参照▶ ご使用のモデルについて「本書の表紙」

* 3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■ お電話でのスムーズな問い合わせのコツ

- ご使用のPCの型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、[システム情報] 画面、または本体底面などの表示でご確認いただけます。
[システム情報] 画面は、次の方法で確認できます。
【タブレットモードがオフの場合】① [スタート] ボタン () をクリック→② [dynabook サポートユーティリティ] →③ 画面左側の [システム情報] をクリックする。
【タブレットモードがオンの場合】① スタートメニューの左上の [すべてのアプリ] () →② [dynabook サポートユーティリティ] →③ 画面左側の [システム情報] をクリックする。
- どのような症状が起きましたか？ エラーメッセージなどは表示されましたか？
- その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？
- 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。
- 事前にお客様登録  (<http://dynabook.com/assistpc/pg/room1048>) をおすすめします。

付
録

■各問い合わせ先について *電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。

使いかた
相談

dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口

使いかた、技術的な相談などの電話によるお問い合わせ窓口です。

1. お問い合わせの前に、お買い上げの製品を「Room dynabook」にご登録（お客様登録）ください。
使いかた相談窓口のご利用には、「Room dynabook」へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照▶「Room dynabook」への登録方法

『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 パソコンを使用する前に』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円（税抜き、予定価格）
1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。
お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいたうえでサービスを提供させていただきます。
なお、詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。
3. お電話いただく際には、「発信者番号通知」をお願いいたします。

[固定電話から] **0120-97-1048**（通話料無料）

[携帯電話から] **0570-66-6773**（通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：**043-298-8780**
受付時間：9:00-19:00（年中無休）（通話料お客様負担）

サポート
予約

dynabook 電話サポート予約サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/cb.htm>

お客様がホームページからご予約された時間帯（18:00～21:00）に、dynabook 電話サポート予約サービス担当者からお電話を差し上げて質問にお答えするサービスです。

1. サービスのご利用前（予約前）に、お買い上げの製品を「Room dynabook」にご登録（お客様登録）ください。
dynabook 電話サポート予約サービスのご利用には、「Room dynabook」へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照▶「Room dynabook」への登録方法

『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 パソコンを使用する前に』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円（税抜き、予定価格）なお、本サービスは時間枠の都合上、ご予約1件につきご質問内容は1件とさせていただきます。詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。

**遠隔支援サービス**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm>

電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

FAQ

当社ホームページ「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

<http://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>

「dynabook あんしんサポート」にお問い合わせが多い内容についてランキング形式で紹介しています。

http://dynabook.com/assistpc/faq_search/faq_ranking_call.htm

**お客様の質問に対してWeb上で自動回答するチャットサポートサービス**

http://dynabook.com/assistpc/chat/index_j.htm

対話形式（文章）で具体的（「何がどうなった」「何をどうしたい」など）に質問を入力していただくことで、よりの確な回答を導き出すことができます。また、24時間無料でご利用いただけます。

本サービスは、お客様の質問に対してWeb上で自動回答するサービス（チャットボットシステム）となります。オペレーター対応ではございませんのでご了承ください。

**メールを使ってご相談**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/web.htm>

メール専用の受付フォームからお問い合わせください。

サービスのご利用前に、お買い上げの製品を「Room dynabook」にご登録（お客様登録）ください。

参照

「Room dynabook」への登録方法

『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 パソコンを使用する前に』

修理

dynabook 集中修理センター（dynabook あんしんサポート 修理相談窓口）

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

【固定電話から】 **0120-97-1048**（通話料無料）

【携帯電話から】 **0570-66-6773**（通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：**043-298-8780**（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-19:00（休業日：12/31～1/3）



dynabook 集中修理センター

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A 本当に故障かわからないとき

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認（携帯からアクセス可能）

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。

* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■ 企業のお客様の本製品（国内仕様）修理依頼は

法人向け修理・サポートダイヤル

<http://dynabook.com/pc/business/service/support/repair/>

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）



ILWサポート（海外保証・制限付）

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎた本製品については、有料修理サービスがございます。

ホームページからの修理申し込み：<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

電話番号：

[海外から] 81-43-298-8780（通話料お客様負担）

[固定電話から] 0120-97-1048（通話料無料）

[携帯電話から] 0570-66-6773（通話料お客様負担）

一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-19:00（休業日：12/31～1/3）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

（中国は、現地修理サービス。その他地域は、日本への引き取り修理サービス）

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、中国、台湾、香港 ※準州などを除く



電源コードやACアダプターなどの付属品の購入窓口

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm>



バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

- バッテリーパック交換（個人）
dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご連絡ください。
- バッテリーパック交換（企業）
営業担当にご連絡ください。



PCリサイクルのご相談（個人）

● PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、当社での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。

個人・家庭からの使用済み当社製パソコンを廃棄するときは、dynabook リサイクルセンターへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。



リサイクル

<PCリサイクルマーク>

回収申し込み・お問い合わせ先：dynabook リサイクルセンター

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm>

電話番号：043-303-0200

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：043-303-0202

出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、CD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器

対象（当社製パソコン）：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管（CRT）ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

● PCリサイクルマークがない場合

2003年9月末日までに当社から出荷された「PCリサイクルマーク」のない「個人・家庭向けパソコン」については、回収・再資源化に関する費用を、排出の際にお客様に料金をご負担していただきます。

料金につきましては、dynabook リサイクルセンターまでお問合せください。



PCリサイクルのご相談（企業） dynabook IT機器リサイクルセンター

電話番号：044-555-1214

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：044-555-3220（24時間受付）

- 事業系（企業・法人）の使用済みパソコン 回収・リサイクルのホームページ
<http://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>

点検

dynabook あんしん点検（有料）の申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。

有料
サポート

有料のPC遠隔レッスンサービス／PC遠隔代行サービス／dynabook 延長保証サービス

・PC遠隔レッスンサービス

個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。

・PC遠隔代行サービス

周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm>

・dynabook 延長保証サービス

メーカー無償保証を延長する「dynabook あんしん延長保証」と、さらにメーカー保証では対象とならない落下、水こぼし、破損、落雷等の損傷もカバーする「dynabook プレミアム保証」をご用意しています。

http://dynabook.com/assistpc/encho/index_j.htm

データ
復旧

dynabook データ復旧センター（有料）のご案内

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きるハードディスク故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

dynabook データ復旧センター

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

【個人のお客様】

電話番号：043-277-9270（通話料お客様負担）

受付時間：9:00～18:00（12月31日～1月3日を除く）

【企業のお客様】

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問
サポート

dynabook 訪問サポート（有料）*個人のお客様向け

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm>

訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、パソコンの接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社

電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00（年中無休）

キューアンドエー株式会社

電話番号：0120-577876／受付時間：10:00～19:00（年中無休）

1 お客様登録の削除について

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除してください。

● ホームページから削除する

- ① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する
- ② ページ右の【ログイン】をクリックする
- ③ 「Room dynabook」にて登録したメールアドレスと、パスワードを入力し、【ログインする】ボタンをクリックする

※ システムの仕様上、ご登録メールアドレスにてログインできない場合があります。その場合は、お手数ですが、ID (TID) でログインいただくか、ID (TID) をお持ちでない場合は、Room dynabook 事務局にお問い合わせをお願いします。

- ④ ページ右下の【退会】をクリックする
- ⑤ 「Room dynabook」にて登録したメールアドレスと、パスワードを入力し、【退会】をクリックする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ 「Room dynabook」を退会されると、「Dynabook Direct」での購入履歴や「Room dynabook」会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「Room dynabook 事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

- Room dynabook 事務局（お客様情報変更）
TEL : 0570-09-1048（ナビダイヤル）
受付時間 : 10:00～17:00（土・日、祝日、当社休業日を除く）

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

参照 ▶ 技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ、またリサイクルに関して
[「サービス&サポートのご案内 \(50ページ\)」](#)

2 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄する場合は、ハードディスクの内容をすべて消去してください。


なお、ハードディスクに保存されているデータやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

お願い パソコンを譲渡する場合は注意してください

- ハードディスクの内容をすべて消去すると、再びシステム（OS）を戻すことはできません。パソコンを譲渡する場合など、再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したいときは、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口へお問い合わせください。

ハードディスクの消去機能から行う方法

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。

- ① 電源コードとACアダプターを接続する
- ② [スタート] ボタン () をクリックする
- ③ [設定] をクリックする
- ④ [更新とセキュリティ] をクリックする
- ⑤ [回復] をクリックし、[PCの起動をカスタマイズする] → [今すぐ再起動] をクリックする
- ⑥ [トラブルシューティング] をクリックする
- ⑦ [dynabook Maintenance Utility] をクリックする
- ⑧ [ハードディスク上の全データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑨ [標準データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする
通常は [標準データの消去] を選択してください。[機密データの消去] は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。
[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。
処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- ⑩ [次へ] ボタンをクリックする
警告画面が表示された場合は、画面の内容を確認して [[はい] をクリックしてください。
消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。
- ⑪ [終了] ボタンをクリックする

5

リカバリーチェックシート

パソコンをリセットしたり初期状態に戻す（リカバリー）際は、次の説明をお読みになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照▶ 各項目の詳細「2章の **3**～**5**」

1 リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
<input checked="" type="checkbox"/>	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
<input checked="" type="checkbox"/>	『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』を参照して、ほかのトラブル解消方法を探す
<input checked="" type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、パソコンを以前の状態に復元する

2 リカバリーする前の準備

②以降は、リカバリーの方法に合わせて、必要に応じて行ってください。

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① 準備するもの リカバリーの説明と「リカバリーチェックシート（本シート）」をコピーしたもの
<input checked="" type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる ● [ドキュメント]、[ピクチャ]、デスクトップ上などのデータ ● インターネットの [お気に入り] のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）
<input checked="" type="checkbox"/>	③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア ● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）（* Office搭載モデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	④ 各種設定を ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定など
<input checked="" type="checkbox"/>	確認する インターネット、Windows サインイン時のアカウント名などの設定
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 無線通信機能がONであるかを確認する

3 リカバリーの実行と確認

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① リカバリーを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	② 周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	③ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの利用を開始する
<input checked="" type="checkbox"/>	④ インターネットを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ メールを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑧ バックアップをとったデータを復元する

MEMO



A series of horizontal dashed lines for writing, with small fish icons at the ends of some lines.



「Room dynabook」お客様登録のお願い

当社では、お客様へのサービス・サポートのご提供の充実をはかるために「Room dynabook」のご登録をお願いしております。

登録用ホームページ：

<http://toshibadirect.jp/room1048/>



左記のQRコードで登録用ホームページにアクセスできます。

- ・ 本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
 - ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
 - ・ 落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
- dynabook あんしんサポートにお問い合わせください。

P*-K*P*シリーズ、KZ**/Pシリーズ、KX**/Pシリーズ

取扱説明書

2019年12月5日

第1版発行

GM9043594210

発行 **Dynabook株式会社**

〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15 (NBF豊洲ガーデンフロント)



ローマ字／記号入力一覧表



あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SE	SO
	SHI			
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	CHI	TSU		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		FU		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	ゐ		ゑ	を
WA	WI*		WE*	WO
ん				
NN				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	Ji			
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA*	VI*	VU	VE*	VO*

*：英字を入力し、[SPACE]キーを押してください。

うあ	うい		うえ	うお
WHA	WHI		WHE	WHO
きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くあ	くい		くえ	くお
QA	QI		QE	QO
しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
JA		JU	JE	JO
ずあ	ずい	ずう	ずえ	ずお
SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
つあ	つい		つえ	つお
TSA	TSI		TSE	TSO
てや	てい	てゅ	てえ	てよ
THA	THI	THU	THE	THO
とあ	とい	とう	とえ	とお
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ふあ	ふい	ふう	ふえ	ふお
FWA	FWI	FWU	FWE	FWO
FA	FI		FE	FO
みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

記号の入力

記号の中には読みを入力して[SPACE]キーを押すと変換できるものもあります。

～	※	々々	①② I II	♪
から	こめ	おなじ	いち、に…	おんぷ
◎●	↑↓←→	ヶ	ゞ	φ
まる	やじるし	け	しめ	ふあい
□■◇	【】〈〉『』	×		m ^o
しかく	かっこ	かける	へいほうめーとる	
☆★	〒	÷	(^.^)など各種顔文字	
ほし	ゆうびん	わる	かお	

小さい文字

あ	い	う	え	お
LA	LI	LU	LE	LO
XA	XI	XU	XE	XO
っ	ゃ	ゅ	ょ	
LTU	LYA	LYU	LYO	
XTU	XYA	XYU	XYO	